

令和8年度 軽費老人ホーム有明ハイツA事業計画

1 運営方針

有明ハイツは、家庭環境、住宅事情等により自宅での生活に不安のある高齢者が利用する軽費老人ホームとして昭和50年5月にA型(食事付)50名、B型(自炊)50名で開設し、本年度で51年目を迎えます。この間、利用者のニーズの変化もあり、平成24年4月からB型を廃止し、A型90名定員での運営に移行しました。

運営にあたっては、協会の理念に基づき、安全で心身ともに健やかな生活が送れるよう利用者一人ひとりのニーズに合った適切なサービス提供を行います。

2 事業計画

(1) 利用者サービス

- ① 利用者の希望を取り入れ、気軽に参加できるクラブ活動や、季節に応じた行事等を計画し、リズムのある健康で明るい生活が送れるよう支援します。
- ② 心身機能の低下が見られる利用者に対しては、当施設で継続して生活していただけるよう、個別に健康・医療相談を実施するとともに身元保証人やケアマネージャーとの連携により在宅福祉サービスの利用も含め、利用者に寄り添った個々の生活を尊重したサービスの提供に努めます。
- ③ 利用者それぞれの嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに、味付け・食べやすさ・盛り付けに気を配り、旬の食材を使った、美味しくバランスのとれた食事を提供します。
- ④ より快適な生活を支援するため、利用者とのコミュニケーションを図り、信頼関係を深めるとともに、一人ひとりにあった支援計画を立て、その計画を達成できるよう職員が一体となって支援に努めます。

(2) 健康・衛生管理と安全対策

- ① 日常の健康管理はもちろん、定期健康診断や予防接種を実施し、病気の早期発見に努め、病院受診や入院など、早期に適切な対応に努めます。
- ② 食品や調理業務の衛生管理を徹底し、食中毒防止を図り、安全な食事提供に努めます。
- ③ 感染症に対しては、感染対策委員会及び研修会を開催するなど、職員間の連携や情報共有を図り、迅速な対応を行います。また、発生予防対策として情報収集とともに、施設内の消毒や換気、手洗い、うがいなどの励行に努めます。
- ④ 転倒事故等の予防対策として、当施設独自の健康にこころ体操や毎日のテレビ体操への参加を呼びかけ、健康の維持と増進を図ります。
- ⑤ 認知症予防対策として、お楽しみクラブでのゲームや各種行事の飾付など、指先を使った作業や、YouTube を使用し、歌や体操で楽しむ時間を取り入れ健康回復や生活の質の向上、脳の活性化にも繋がります。

- ⑥ 安全対策として、事故発生防止検討委員会及び研修会を開催し、事故やヒヤリハット事例の収集分析を行い、事故防止に努めます。
- ⑦ 防災対策として、利用者の防災意識を高めるため、火災・地震・水害などの避難訓練を実施するとともに、防災用食品・物品の備蓄に努めます。

(3) 地域交流

近隣の小学校児童がチューリップを育て利用者を楽しませてくれる「花いっぱい青山」での交流を行い、地域との繋がりを深めます。

(4) 職員の資質向上

職員研修については、利用者の多様な福祉ニーズに対応できる人材を育成するため、施設内研修のほか、施設外研修会にも積極的に参加し、介護予防や生活支援の専門職としての資質と能力の向上を図ります。